

各担当課に「皆様の声」をお届けしました。また、議員でも共有しておりますので、一般質問や議案質疑などで取り上げられることもあります。

担当課	意見・要望・質問	回答
総務課	公共施設(各公民館・図書館・中央公民館他)の老朽化の対応はどのように考えているか。	公共施設の老朽化の対応につきましては、町が策定しました公共施設等総合管理計画の中に記載しています。その行動原則の中で、施設の維持管理は長寿命化を原則としています。また、築30年とされる目標使用年数の中間時の築40年に達した施設については、町民ニーズ・社会的ニーズを踏まえた大規模修繕を実施して継続使用していくのか、建て替えを行うのか、他施設との集約・複合化を行うのかを個別施設ごとに検討していくこととなります。図書館、中央公民館につきましては目標使用年数の中間時を迎える年度を目的に今後の施設の方向性を検討してまいります。また、各地区公民館につきましては自治体管理となっているため、各区の判断によるものとなります。
	令和5年度は地方交付税(一般交付税)の不交付団体となったが、そのメリット・デメリットは何か。	始めに、不交付団体のメリットとしては、交付団体と比較して、独自性、自立性を発揮しやすいという点が考えられます。次に、不交付団体のデメリットとしては、事業によっては、国庫補助金の補助率が下げられるものや、補助対象外になる事業もあるという点があります。また、普通交付税は交付されないため、普通交付税の計算に算入される事業費が、全額町の自己負担となる点が挙げられます。
	若者(中高生など)の政治への関心をどう高めるか。	現在、若者の政治への関心を高める取組として、武豊高校の3年生の方に、投票立会人としてご協力を頂いております。また、毎年、公益財団法人明るい選挙推進協会との共催で、町内の小中学校の児童生徒を対象に、明るい選挙啓発ポスターコンクールを実施しています。その他にも、学校の児童会や生徒会の選挙の際に、実際に選挙管理委員会で使用している選挙用具の貸出しを行うことや、要望のある学校へ愛知県選挙管理委員会と共同しての出前トークの実施を行うことなどの取組も考えてまいります。
防災交通課	災害時に知多半島は、「陸の孤島」となる恐れはないか。	本年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」では、度重なる揺れの影響で土砂崩れや道路の陥没が発生し、救助や支援に向かう車両が被災地に到着するまでにかなりの時間を要したという状況が見られました。知多半島と能登半島では地形や道路事情など異なる部分もあるが、同じ半島という地理的条件から同様の被害が起こることも十分想定されます。今回の地震を教訓として、行政はいち早くライフラインの復旧や物資の調達等に全力を尽くすと同時に、町民のみなさんにおいても日ごろから災害時の行動や備蓄等の準備に心がけていただければ幸いです。
企画政策課	市への移行はあるのか。	近年、町の人口は約4万3千人で推移しておりますが、単独での市移行に必要な人口は5万人であり難しいと考えています。
	大東建託が実施した調査で、令和5年の「住み続けたい街」ランキングで本町が県内第2位となったが、町はどのように評価しているか。	これまで取り組んでまいりました施策が、住民の皆様より評価頂いたものと考えています。今後も住民の皆様のニーズに応える施策に取り組んでまいります。
	コミュニティを拡大させるためには、外国人との共生の地域づくりを進める必要を感じている。	住民の皆様が国籍に関わらず繋がりを持てるような、機会の創出や情報発信に努めてまいります。
	40年間住んでいた町に興味はなかったが、提案型事業への参加がきっかけで、プロキング(ゴミ拾いとジョギング)や町イベントに参加するようになった。	提案型協働事業を一つのきっかけとして、住民と町との協働が創出されました。今後もきっかけづくりが出来るよう努めてまいります。
子育て支援課	町民が楽しめるイベントに、町外からも来てもらえるような仕組みが作れたら良いと思う。	様々な情報発信ツールを活用し、イベント等に関する情報発信に努めています。住民の情報発信チームである「たけとよ日和」がインスタグラムを利用して町の魅力を発信しています。行政による発信だけではなく、住民や事業者等との協働により発信するなどの仕組みづくりを調査・研究してまいります。
	南部子育て支援センターは利用者が多く窮屈となっている。一方で児童館は余裕があるので代替施設として使用できないか。	南部子育て支援センターの利用が増加しており、ご迷惑をおかけしています。富貴児童館は、南部子育て支援センターと併設された複合施設となりますので、開館時間であれば自由に利用できます。子育て支援センターにおいても、お子さんの発達に応じて児童館行事にお声がけするなど、相互利用に努めております。窮屈に感じられる場合は、児童館の利用もご案内させていただきますので、お気軽にお申し出ください。
環境課	西保育園において、ミニトマトを使用した食育の実施を予定している。ミニトマトすくいや野菜の育苗の方法等に触れ、野菜を食べるきっかけとしたい。他の保育園の園児の保護者がこの食育を希望する場合は意見を挙げてほしい。	保育園の食育活動にご協力頂き、ありがとうございます。他の保育園においても、町内の農家さんの協力を頂きながら、様々な食育活動を実施しています。今後も保護者の方々からのご希望に応じ、食育に関する体験や農家さんとの交流を続けてまいりたいと考えております。子どもたちへ食べ物の大切さを伝えていくため、食育活動にぜひご協力頂きますよう、よろしくお願ひします。
	組の関係から近くのごみステーションではなく、遠いところのものを利用している。ごみの量の多少の違いを均等にするためにも、利用場所の変更をしてほしい。	ごみステーション(ごみ集積所)は、区と町で相談して、概ね30戸に1か所の割合で設置しております。区では、地域の実情、掃除当番のことなどを考慮し、利用場所を決められているものと伺っています。今回の、ごみステーション(ごみ集積所)の利用場所の変更については、区とも相談する必要がありますので、詳細について、環境課へご連絡を頂きますよう、お願ひします。
土木課	みゆき通りの道路幅員の計画を教えてください。	みゆき通り(都市計画道路 武豊港線)の事業主体は愛知県となります。現在、町において知多武豊駅東土地区画整理事業を進めており、同区間の愛知県によるみゆき通りの幅員整備については、令和6年度から工事に着手する方向です。また、当事業区間の東側についての整備延長及び丁字交差点の検討を進めて頂くように愛知県に要望しています。
都市計画課	中央公園内(倉庫内)や名鉄知多武豊駅の観光所内などに、民間事業者によるカフェ(交流スペース)をつくってほしい。	武豊中央公園は、今年度で整備完了となります。今後の活用方法については、利用者の皆様の声参考にしながら検討していきます。なお、公園内の倉庫は、防災に関する資材等を保管する防災倉庫としてあり、他の用途に利用する予定はありません。旧ぎやうりい夢乃蔵に設置されていた観光案内所は、知多武豊駅東土地区画整理事業により令和2年2月末をもち閉所しました。その後、知多武豊駅東土地区画整理事業地内の駅前町有地の活用方法を検討するワークショップ等を開催し、観光案内機能を備えた施設整備案等をとりまとめました。現在、この駅前町有地では、将来的な活用や運営の検討に向けた暫定利用を行っているところです。この利用結果や皆様からの声を参考にしながら、施設を整備するとともに管理運営を含めた官民連携の可能性等についても検討を進めていきます。
	中央公園で防災キャンプを実施したい。	武豊中央公園は、防災機能を有する公園として整備しており、団体(区、常会等)による防災訓練等の実施を想定しています。なお、今後、防災イベント等の実施についても皆様からの声を参考にしながら、検討していきます。
	公共施設等(体育館・中央公園など)に授乳・おむつ替え施設の整備をしてほしい。(赤ちゃんの駅など)	武豊中央公園では、おむつ替えに対応できるようバリアフリートイレを設置しています。今後、新たな施設整備をする際には、授乳にも対応できるよう施設条件等を考慮した検討をしていきます。
	子どもたちが自然と触れ合え、遊び場となる環境整備をしてほしい。	自然と触れ合える場所として、武豊町には自然公園がありますのでご利用ください。また、今後、公園等を整備する際には、皆様からの声を参考にしながら整備方針等について検討していきます。
	公園など屋外の公共施設で火気使用を許可してほしい。	公園内での火気の使用(花火、たき火、バーベキュー等)は、公園や近隣の家屋等への火災や騒音による被害等、他の公園利用者や近隣の住民の方に迷惑をかけ、危険が及ぶ可能性があるため原則禁止しています。利用される皆様を楽しめる公園としたいと考えています。
	空き家の現状及び対策の取り組み状況はどのようになっているか。	空き家の情報収集に努め、物件を把握次第、解体補助金などのチラシを所有者の方等に送付しています。相続が複雑になる前に対処してもらえるよう情報提供に努めています。
	無人化となった名鉄2駅の安全性・利便性の確保をどう考えているか。(タクシーとの連携など)	名鉄知多武豊駅の西側には、駅ロータリーの一部が確認できる防犯カメラを設置しています。また、駅前側には新たに駅前広場を整備しました。今後、道路照明・街路灯、防犯カメラ、歩道屋根、バス・タクシー一般車両の乗降場の設置を予定しており、これにより利用者の安全性・利便性の向上が見込まれると考えています。富貴駅についても、防犯カメラの設置を含めた駅前広場の整備を予定しており、利用者の安全性・利便性の向上につながるものと考えています。
	みゆき通りの道路幅員の計画を教えてください。	みゆき通り(都市計画道路 武豊港線)の事業主体は愛知県となります。現在事業化されている名鉄踏切から東側約230mの区間について、計画幅員は16mで、3.5mの自転車歩行者道が両側に設置される計画です。また、道路整備に合わせ電線類の地中化も予定されています。これまでに用地買収や設計・協議を進め、令和6年度から工事に着手する方向です。事業認可期間は令和9年度までとなり、事業完了後は踏切部分が交互通行化されるとともに、周辺の交通規制の変更も予定しています。また当該区間の整備完了後、引き続き東側区間の道路整備に着手できるよう、愛知県と協議を進めていきます。
中央公園の利用ルールをしっかりと周知してほしい。自転車駐輪場を利用せず道路に停めている。	武豊中央公園を利用される皆様気分よく利用できるよう、利用者のモラルの向上を促す取り組みや、注意喚起できる環境を整えることが必要と考えています。今後も、より良い公園となるよう、利用方法の周知等に努めてまいります。	
名鉄知多武豊駅東広場は、立地条件(道路から奥まっている)から集客が見込めないため、イベント会場には適していない。	現在、知多武豊駅東側町有地(知多武豊駅東にきわい広場(仮称))では、将来的な活用や運営の検討に向けた暫定利用を行っているところです。みゆき通り(都市計画道路 武豊港線)からは裏手に当たりますが、名鉄知多武豊駅前位置することから、立地特性に即した土地利用について、暫定利用の結果や皆様からの声を参考にしながら、検討を進めていきます。	

他にもたくさんの意見をいただきました。今後の町政に反映されることを期待します。

総務課	補助金制度の活用が不十分と考えており、住民への周知の方法を検討してほしい。
	各種会議の内容を、住民間で共有できる仕組みづくりが必要である。
	移住し裕福な町を実感している。子供会や区の自治を通して、外国人を含めた地域との関わりの大切さ、治安維持の必要性を感じている。
	いつでも、誰でも、気軽に相談できる常設の拠点(ボランティア拠点など)がほしい。
防災交通課	住民に情報が伝わっていない。(消防署移転工事など)
	防災ボランティアの会への金銭的支援がない。 コミュニティバス「ゆめごろん」の巡回ルートの逆廻りを考えてほしい。
企画政策課	子どもから高齢者まで集まるイベントを実施してほしい。実施したい。(中央公園などで)
	役場の駐車場や中央公園など、集客が見込める利便性の高い公共施設を利用して、マルシェなどのイベントを実施したい。
福祉課	障がい者との交流の場を増やしてほしい。
子育て支援課	南保育園の遊具は、老朽化により使用できないものが多いため、修繕又は新設してほしい。
	気軽に誰もが集まることができる場所が必要。例えば、この場所を通し、育児放棄や家庭内暴力を根絶したい。
	子ども施設内(保育園、子育て支援センター、児童館など)のあそび道具が古く壊れているものもあるため、予算を確保のうえ取り替えてほしい。
	保育園への障がい児入所について、入所基準は満たしており、主治医(県の指定医)には集団の中で育んでいくことが大切と言われるが、卒園基準(あおぞら園)を満たしていき、行政には集団に向かないと判断され入所ができない。経済的な理由もあり働きたいので、もっと柔軟に対応してほしい。
環境課	沿道(しまむら付近)の雑草が多いことが、ごみが捨てられる要因ではないか。
	外国人も分かりやすいごみ捨てのルールの周知をしてほしい。
産業課	武豊町はイベントが少なく、観光事業が弱い。観光に係る情報も近隣市に比べ少ない。
	町民が楽しめるイベントに、町外からも来てもらえるような仕組みが作れたら良いと思う。
	新規就農者の販路開拓のサポートがなく情報も少ない。
	農園等(新規就農)を開設し継続させるためには、地域をよく知るアドバイザーが必要となる。
議会事務局	住民対話集会に、サラリーマン夫婦など多くの方に参加してほしい。
	議会だよりに音声コード(ユニボイス)を導入してほしい。
	議会の傍聴に多くの方に来てほしい。
学校教育課	不登校について、学校や教育委員会などに相談し他の居場所がないか探したが、情報が得られなかったため、馬場公民館をお借りして、親子の居場所となるサークルを作った。
	不登校児童は別教室を使用し、ステップの説明もなかった。学校内にもっとオープンな居場所(どの児童も行き来できる)を設けてほしい。
	PTA活動や部活動が少なくなり、保護者同士のつながりが希薄となり、子どもの居場所も少なくなっていると感じる。
	民間のクラブ活動は学校から離れており不便となるため、武中の吹奏楽部のように学校の部活動へ指導者を招致してほしい。
生涯学習課	気軽に誰もが集まることができる場所が必要。例えば、この場所を通し、育児放棄や家庭内暴力を根絶したい。
	地域の中に交流の場(カフェ)をつくってほしい。
	NPOの活動が物価高騰などにより予算が厳しく、外国人へ日本語を教える回数を減らしている。ただし、子どもへの教育は厳しい中、継続している。
	お離子への金銭的支援だけでなく、人的支援を行ってほしい。
スポーツ課	部活動の地域移行の取り組みに、補助金を交付してほしい。(令和6年度~)
	空き地を利用して、子どもの健全育成やスポーツ振興のためにもスケボーやバスケットボールができる場所を整備してほしい。



2023年12月16日開催(土)地域交流センター2階多目的ホールにて16名の住民と16名の議員の参加し「武豊町の未来について意見交換」をおこないました。